

第48回 母乳育児支援学習会

申込期間：～2021年5月中旬（予定）

会場：Web開催（eラーニング）

主催：日本ラクテーション・コンサルタント協会（JALC）

テーマ：親と子に寄り添う母乳育児支援

受講期間：申込日から3カ月間

対象：母乳育児を援助する専門家（助産師、看護師、保健師、医師、歯科医師、栄養士など）、学生、母乳育児支援団体認定リーダーなど、母乳育児支援に興味のある方

内容：スライド映像・音声による講義（PDF資料付き）。講義視聴および資料の閲覧後、継続教育単位（CERPs）の取得が可能（予定）。

※日本助産評価機構アドバンス助産師更新のための指定研修として単位申請可能

問い合わせ先：事務局

☎ 022-725-8561

✉ ejalc-support@jalc-net.jp

第61回日本母性衛生学会総会・学術集会

日時：

【ライブ配信】10月9日（金）、10日（土）

【オンデマンド配信】10月11日（日）～10月22日（木）

会場：Web開催

テーマ：健やかなる女性の一生一生涯を通した女性への健康支援

問い合わせ先：総会・学術集会運営準備室（日本コンベンションサービス株式会社中部支社内）

☎ 052-218-5822

☎ 052-218-5823

✉ 61bosei@convention.co.jp

第79回 日本公衆衛生学会総会

日時：10月20日（火）～10月22日（木）

会場：Web開催（終了後、11月30日まで一部アーカイブ閲覧予定）

プログラム：学会長講演 今中雄一／特別講演Ⅰ「これからの日本と地域医療システム／公衆衛生システム」尾身茂／Ⅱ「柏プロジェクトの今後の展開：地域包括ケアシステム」辻哲夫／Ⅲ「京都府におけるスマートシティづくり」山下晃正／Ⅳ「医療研究開発におけるAMEDの取り組み」三島良直／メインシンポジウムⅠ「健康とスマートシティ・まちづくり」宮森健一郎、本田信次、荒川剛／Ⅱ「COVID-19感染の実像を考える」／Ⅲ「新型コロナウイルス感染症対策と地域社会における連携」／教育講演A1-3「持続可能な福祉社会—コロナ後の社会構想と人口減少社会のデザイン」広井良典／A5-3「高齢者研究を続ける中で、やっぱり気になる子どもたち」木村みさか／B2-1「Comparing Social Determinants of Health Across Countries」Eric Brunner／B3-1「環境要因と遺伝要因の相互作用から探る予防医学」原田浩二／B2-2「地域包括ケアと医療・介護のデータベース活用」松田晋哉／B3-2「行動経済学と健康：ナッジ、インセンティブとその背景」後藤励／B2-3「地域住民を対象とした大規模認知症コホート研究の展開」二宮利治／B3-3「データヘルス時代の母子保健情報の利活用」山縣然太郎／B2-4「新興感染症の制

御と数理モデル—SARS、MARS、COVID-19」西浦博／B3-4「まちぐるみの認知症予防と共生社会」玉井顯／B1-5・研修会「あなたを活かす国際キャリア形成の手ほどき」中谷比呂樹／B2-5「健康の社会的要因（Social Determinants of Health：SDH）」近藤克則／B3-5「気候変動と健康：グローバルそしてローカルの視点から」橋爪真弘／A2-7「オーラルフレイル予防の必須対策：公衆衛生的アプローチ」尾崎哲則／他

総会参加申込料金：1万円（9月16日～10月21日、抄録集代含む）

問い合わせ先：運営事務局（株式会社コンベンションリンケージ内）

☎ 075-231-6357

☎ 075-231-6354

✉ jsph79@c-linkage.co.jp

第5回 神戸看護学会学術集会

日時：10月24日（土）～11月30日（月）

会場：Web開催

内容：学会長講演「看護の原点回帰と新たな挑戦」江川幸二（神戸市看護大学教授）／教育講演「新たな時代を気づく看護の構想力」南裕子（神戸看護大学学長）／シンポジウム「新型コロナウイルス感染症への看護職の新たな挑戦」：「医療機関からの報告」、「行政からの報告（保健所、軽症者宿泊所）」、「地域関連施設からの報告（訪問看護ステーション、高齢者施設）」、「教育機関からの報告（3大学）」

参加費：会員4000円、非会員5000円（9月26日以降）

参加登録期限：11月6日（金）

問い合わせ先：学術集会事務局

✉ gakujyutsu@kobeans.jp

URL gakujyutsu.kobeans.jp